



宗派超え復興へ祈り

鎌倉・高德院で万灯会

東日本大震災の復興を祈願する「万灯会」が10日夜、鎌倉市長谷の高德院で行われた。大仏の周りには2

千の万灯が配され、東北の復興へ願いを込めた「写真」。

鎌倉十三仏詣実行委員会

の主催で4回目。市内など38の寺から、浄土宗、真言宗、臨済宗、日蓮宗、真言律宗の僧侶約60人が参加した。長谷寺の山門から高德院へ行道した僧侶らが大仏の前で読経すると、周囲は荘厳な空気に包まれた。被災地からの避難者たちも参列、復興を祈った。

市民らが万灯に書いた「東北に元気が戻りますように」といった文字が炎に揺れ、訪れた人々が手を合わせては被災者や東北へ思いをはせていた。